



中央は内臓鏡の操作を訓練できる装置

おもしろいのは、1階フロアの工夫だ。市街地や一般のクリニック、ER（救命救急室）などの様子がプリントされた布がいくつかが用意さ

れている。患者が治療や看護を受けるとき、目の前にいる医師や看護師は、プロで高い技術を持っていると思いがちだが、現実には必ずしもそうではない。誰もが始めは新人であり、日常の仕事のなかで経験を積むことで、技術や専門職としての能力を身につけていく。

医師の場合、国が義務化した2年間の臨床研修制度中に、ある程度の経験を積むことができるかもしれない。だが、看護師には必修の臨床研修制度がなく、勤め先の病院やクリニックで、先輩に教わりながら、臨床経験を積んでいくケースがほと

んどだ。しかも、今の看護の世界は、看護師不足の問題などあって、どの医療機関でも新人看護師をじっくりと育てていくゆとりがない。

卒業してすぐに即戦力として働かなければならない。そんな厳しい現実にはさらされた新人看護師が負担を感じ、離職するケースもある。

もし、同センターのような高度なシミュレーションを積極的に活用できれば、安全に「失敗から学ぶ」という貴重な経験を積めるだろう。看護師でもある阿部さんは、現在は講師の一人としてシミュレーションを用いた教育を実践する。これまでに指導した利用者の様子をこう振り返る。

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」

「シミュレーションの前後に評価表でチェックをすると、スキルも上がっていますが、効果はそれだけではありません。実技について「振り返り」やディスカッションをすることで、次第に自分でどう動けばいいのか考え、発言できるようにになります」



美観を重んじた近代的な建物。眺望もよい

病棟を再現したトレーニングルーム。真実はマジックミラーになっていて、講師やインストラクターが研修者の様子をチェックすることができる



医療ジャーナリスト

伊藤隼也が行く！

ニッポンの医療現場 第59回

## 医師や看護師から熱い視線 疑似体験で経験を積む シミュレーションセンター

日常診療に追われる医療現場において、医師や看護師などに求められるのは即戦力だ。だが、教科書や専門書などで得た知識だけでは、十分に対応しきれないことも多い。そんななかで注目されているのが、シミュレーターを使ったトレーニングだ。日本最大規模の設備をもつセンター取材した。

本物の医療器具を用い  
実際の診療を想定

一般の人にはあまり知られていないが、昨今、医療や看護を経験できるシミュレーションを用いた研修が、教育と現場の橋渡しの役割として、注目されている。

今回、取材で訪ねたのは、沖縄県西原町にある琉球大学。敷地の一部にあるのが、沖縄県や琉球大学などが共同で立ち上げた「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」だ。設立は2012年。広さは2250㎡もあり、シミュレーションセンターとしては、日本一の規模を誇る。

同センターは3階建てで、1階には手術や救急医療、集中治療を再現できるシミュレーションルーム、動物の臓器を扱えるウェットラボなど、専門的な技術を学べる多目的トレーニングルームがある。2階には病棟を完全に再現した病室があり、ここでは患者の急変などの再現も可能にしている。まさに超リアルなシミュレーションセンターだ。同センターの設立に関わったチーフインストラ